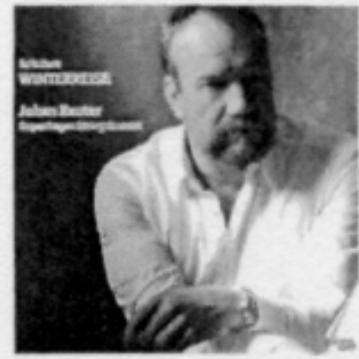


■喜多尾道冬（ドイツ文学）

『冬の旅』の多彩な表現の可能性を探るべくさまざまな編曲が試みられはじめている。つい最近サクソフォーン＆ピアノ編曲版まである。弦楽四重奏伴奏はイエンス・ヨーゼフ版があり、これはテノール用でエルスナーやシュライアーレの録音がある。ここに紹介する新たな版はバス用。コペンハーゲン弦楽四重奏団のチエリスト、リヒャルト・クルーケの編曲による。ヨーゼフ版はテノールにふさわしい孤高さと突き刺さるような凍てつく寒さの強調が目立った。クルーケ版はロイターのヒューマンであったかみある声に合わせてか、リリカルな歌となぐさめに満ち、どんな逆境にも耐え抜く底力を感じさせる。ロイターの声は滋味に富み、自己信頼の念に貫かれ、ホッターの後継者と言えるほど。久々に深い感銘を受けた。

Schubert



推 ★

シューベルト：歌曲集
『冬の旅』（弦楽四重奏伴奏版）

ヨハン・ロイター（Bs-Br）
コペンハーゲンSQ
〈録音：2014年6月〉
[Danacod@DACOCD7
59]